

図書館だより

162



2007(平成 19 年) 5 月 3 1 日発行

編集・発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山 1 番地

024-535-3218 fax 024-536-4787

<http://www.library.fks.ed.jp/>

戦争資料の宝庫・佐藤文庫展

- 佐藤伝吉生誕 120 年記念 -

期 間:平成 19 年 4 月 11 日(水) ~ 7 月 4 日(水) **場 所:**県立図書館展示コーナー

佐藤文庫は佐藤伝吉氏(1887 - 1967)が 65 年にわたって収集した、古今東西の戦争に関する文献類の一大コレクションです。日本だけではなく、各国、各時代の戦争、国防、軍事、兵法、築城、戦争文学等がふくまれ、図書、新聞、雑誌、文書、ポスター、地図、絵巻物など 13,378 点の資料からなります。特に充実しているのは日清戦争、日露戦争関係の資料です。日本語の文献とともに、外国語の資料も豊富です。

「人類の歴史は戦争の記録につながるものであり、戦争の真実を知ることなしには真の平和も希求されたい」という信念から、私財をなげうって収集した戦争資料の一部と氏の功績についてご紹介しています。

< 展示資料の中から >

稿本『日清戦史』第 2 冊決定草案

日清戦争の発端となった朝鮮王宮占領が公式記録とは異なり、日本軍の謀略であったことが記されています。

『松山収容露国俘虜』(1906)

発行語まもなく回収され、ごく少数しか現存が確認されていない松山俘虜収容所の記録をまとめた資料。

『The Russo-Japanese Conflict』(1904)

二本松市出身の国際的な歴史学者朝河貫一氏の主著。日露戦争開戦に至る原因を客観的に分析している。朝河貫一氏は佐藤伝吉氏にとって、現 県立安積高校の 15 年へだてた先輩にあたります。

その他、ロバート・キャパの写真集、日清戦争錦

絵、しべりあ はけんぐん きねんしやしんちよう西比利亞派遣軍記念写真帖など、戦争関連資料も展示しています。この機会にぜひご覧ください。



にっしんせんそう だいにほんしんこく めいよすごろく
『日清戦争大日本神国名誉雙六』(1894)

佐藤文庫の一部(日清戦史 写真集, 草案集)は福島県立図書館ホームページの「デジタルライブラリー」に公開しています。

福島県立図書館デジタルライブラリー<http://www.library.fks.ed.jp/ippan/degital/degital_lib.html>

当館では、福島県に關係する資料、福島県内の団体・機関作成の資料、福島県在住、福島県出身の方が書かれた資料などを収集・保存・提供しています。寄贈いただけるものがございましたらご一報ください。

本に関する名言 33

「本には人の運命をかえる力がある。」(あさのあつこ)『第 92 回全国図書館大会記録』(平成 18 年度)

新着案内

各分野の担当者が選んだ、お勧めの新着資料をご紹介します。

人文・自然

『分りやすく伝える外来語言い換え手引き』

国立国語研究所「外来語」委員会/編

813.7/ㄗ 066

現代の日本は、たくさんの外来語であふれています。最近では、テレビや出版物で外来語を言い換えたり、説明を付け加える工夫がみられるようになりました。しかし、まだまだ世間に定着していない語や、世代によって理解度が違う語があります。

この本では、国立国語研究所が発表した、わかりにくい外来語 176 語が掲載されています。それぞれの外来語について「用例」、「言い換え語」のほか、使い分けや使用するときの注意などが書かれた「手引き」があり、分りやすい内容になっています。

『トレイシー・ホッグの赤ちゃん語がわかる子育て大全』

トレイシー・ホッグ/著，榎朝子/訳，599/朴 06Z

アメリカで有名なベビーシッターである著者が、子育てに悩むお母さん方のさまざまな質問に答えています。子どもの気質に合わせたアドバイスや、具体的な対処方法が満載で参考になります。

社会

『図典日本の市町村章』

小学館

R288.9/ㄗ 071 *館内をご利用いただく資料です。

市町村章の形と色、そして由来を調べることができる資料です。平成の大合併により、さまざまなデザインの新しい市町村章が生まれました。都道府県ごとの地図で市町村の場所を確認したり、合併前の旧市町村名を知ることできます。

掲載されているのは、平成 18 年 11 月 20 日時点での情報です。

『歳時の文化事典』

五十嵐 謙吉/著 八坂書房

386.1/ㄗ 06Z

「鮎」「薔薇」「梅雨」「七夕」など、四季おりおりの動植物・事象・行事などについて、古今東西の記録や文学を引用し、解説した歳事の事典です。たとえば「雷」の項目では、フランクリンが凧あげから避雷針を発明した話にはじまり、『理科年表』の「雷日数の月別平均値」が引用され、ギリシアや日本の神話にまで話がおよんでいます。雷を避けるために「桑原、桑原」というのはなぜかなど、読みながらさまざまな知識を得ることができます。

雑誌・新聞

平成 19 年度から購読をはじめた雑誌から 2 誌をご紹介します。

『考える人』新潮社 Z051/K37 季刊

副誌名の <plain living & high thinking> は詩人ワーズワースの言葉に由来し「シンプルな暮らし自分の頭で考える力」のこと。「生活・暮らし」と「考える」をテーマに毎号特集を組んでいます。2007 年春号の特集は「短編小説を読もう」。特集以外の連載も充実しています。

『S u c k a r a (スッカラ)』

アートン Z302.21/S1

今の韓国の文化がわかる雑誌。「スッカラ」とは韓国語でスプーンのこと。韓国ではお箸よりスプーンを主に使います。そんな似ているようで違っているお隣の国の文化を楽しく紹介する雑誌です。ドラマから一歩進んで韓国について知るのはいかがでしょうか。「韓国スウィーツ」「マニアック・ソウルで過ごす夏」などの特集記事があります。

地域

『野岩鉄道 20 年記念誌』 野岩鉄道 / 編・発行 L686.2/Y3/1

1887(明治 20)年の東北本線、1897(明治 30)年の常磐線に遅れること約 100 年、1986(昭和 61)年に会津地方の宿願であった首都圏への直結鉄道が開通しました。それが野岩鉄道です。会津鉄道、JR 只見線と乗り入れをして、現在は会津若松駅 新宿駅間を約 4 時間 30 分で結んでいます。この鉄道はもともと、野岩羽線(栃木 会津若松 米沢)として構想されたものでした。

沿線町村の過疎化、道路網の整備による交通事情の変化等、厳しい経営を強いられていますが、沿線住民の貴重な公共交通として、また、尾瀬や会津への観光路線という活路を見だし、今日も安全運行に励んでいます。イザベラ・バードが歩んだ会津西街道とも重なるこの鉄路、あなたもたどってみませんか。

『福島県統計年鑑 2007』 福島県情報統計領域 / 編・発行 L351/F1/5-121

福島県に関する統計が総合的にまとめられている資料。平成 17 年、あるいは 17 年度を収録対象とし、自然、人口、産業、金融、観光、所得、行財政、教育、環境等多岐の分野にわたる合計 231 の統計を収録。「月別の降水量」から「市町村別のテレビ受信契約数」までこの 1 冊でわかります。当館では、明治 14 年からの所蔵がありますので(一部年度抜け有) 様々な事柄の経年変化を広く捉えることができます。